

「管理体制整備型アンケート調査」集計表

あなたは何歳ですか？一つお選びください

	回答数	構成比
(1) 20歳未満	0	0.0%
(2) 20歳代	0	0.0%
(3) 30歳代	12	4.9%
(4) 40歳代	40	16.3%
(5) 50歳代	77	31.4%
(6) 60歳代	63	25.7%
(7) 70歳代以上	52	21.2%
無回答	1	0.4%
計	245	100.0%

あなたの世帯は、次のどれに当てはまりますか？一つお選びください。

	回答数	構成比
(1) 専業農家	52	21.2%
(2) 兼業農家	139	56.7%
(3) その他（会社員など）	51	20.8%
無回答	3	1.2%
計	245	100.0%

あなたのご職業は、次のどれに当てはまりますか？一つお選びください。

	回答数	構成比
(1) 農業	118	48.2%
(2) 自営業	19	7.8%
(3) 会社員	58	23.7%
(4) 公務員・団体職員	18	7.3%
(5) 主婦	3	1.2%
(6) 学生	0	0.0%
(7) その他（ ）	23	9.4%
無回答	6	2.4%
計	245	100.0%

あなたがお住まいの地域は、次のどれに当てはまりますか？一つお選びください。

	回答数	構成比
(1) 住宅が点在する農村地域	158	64.5%
(2) 住宅が集合する農村地域	64	26.1%
(3) 都市的地域	21	8.6%
無回答	2	0.8%
計	245	100.0%

あなたは、どこの市町村にお住まいですか？一つお選びください。

	回答数	構成比
(1) 市	137	55.9%
(2) 町	93	38.0%
(3) 村	2	0.8%
(4) その他	11	4.5%
無回答	2	0.8%
計	245	100.0%

あなたは、「水土里ネット(土地改良区)」という団体を知っていましたか？一つお選び下さい。

	回答数	構成比
(1) 相当以前(平成12年前)から知っていた	105	42.9%
(2) 最近(平成12年以降)から知った	86	35.1%
(3) 知らない	53	21.6%
無回答	1	0.4%
計	245	100.0%

問⑥で「1. 相当以前(平成12年以前)から知っていた」又は「2. 最近(平成12年以降)になって知った」とご回答された方におたずねします。「水土里ネット(土地改良区)」という団体を何で知りましたか？一つお選び下さい。

	回答数	構成比
(1) 世帯が農家あるいは「水土里ネット(土地改良区)」の組合員であるため知っていた	119	48.6%
(2) 広報やパンフレットなどにより知った	38	15.5%
(3) 「水土里ネット(土地改良区)」が行う活動(イベントなど)を通じて知った	19	7.8%
(4) その他()	8	3.3%
無回答	61	24.9%
計	245	100.0%

問⑥で「1. 相当以前(平成12年以前)から知っていた」又は「2. 最近(平成12年以降)になって知った」とご回答された方におたずねします。「水土里ネット(土地改良区)」という団体が水路やため池、農業ダムなど農業水利施設の維持管理(施設の操作をはじめ日常の清掃、草刈りや施設の補修など)を行っていることを知っていましたか？一つお選び下さい。

	回答数	構成比
(1) 知っていた	152	62.0%
(2) 知らない	35	14.3%
無回答	58	23.7%
計	245	100.0%

あなたの周りにある水路やため池、農業用ダムについておたずねします。水路やため池、農業用ダムなどの農業水利施設は作物を育てるため、農業用水を水田等に送水する本来の目的以外に「さまざまな役割」も持っていますが、農業水利施設が持っている次の「さまざまな役割」を知っていましたか。

	回答数	構成比
無回答	245	100.0%
計	245	100.0%

あなたは、これらの「さまざまな役割」を将来の世代に残したいと思いますか？一つお選び下さい。

	回答数	構成比
(1) ぜひ残したい	131	53.5%
(2) できれば残したい	78	31.8%
(3) 残す必要はない	5	2.0%
無回答	31	12.7%
計	245	100.0%

「水土里ネット(土地改良区)では、農業水利施設が持つ「さまざまな役割」を紹介するため、各種イベントの開催(クリーン作戦・施設見学など)や小学校への出前授業、パンフレットの配布などを行っていますが、あなたはこれらの活動が行われていることを知っていましたか？一つお選びください。

	回答数	構成比
(1) 知っていた	108	44.1%
(2) 知らなかった	109	44.5%
無回答	28	11.4%
計	245	100.0%

問⑪で「1, 知っていた」とご回答された方におたずねします。あなたは、「水土里ネット」(土地改良区)が行っている活動に参加したことがありますか？一つお選びください。

	回答数	構成比
(1) 参加したことがある	46	18.8%
(2) 参加したことがない	50	20.4%
(3) パンフレットの配布のみ知っていたため、活動に参加したことがない	26	10.6%
無回答	123	50.2%
計	245	100.0%

「さまざまな役割」も持っている農業水利施設を維持するには、日常の清掃や草刈りなどの作業が必要です。これら維持管理作業を地域住民参加によるボランティア活動で行われる場合、このような取り組みにああなたは、協力しますか？一つお選びください。

	回答数	構成比
(1) 積極的に協力したい	53	21.6%
(2) 時間があれば協力したい	148	60.4%
(3) 協力したくない	24	9.8%
無回答	20	8.2%
計	245	100.0%

「さまざまな役割」も持っている農業水利施設を適切に維持管理し、将来の世代に残していくために必要な費用をあなたのお宅では年間どのくらい支払っても良いとおもいますか？一つお選びください。(実際に支払っていただくものではありません)

	回答数	構成比
(1) 100円	8	3.3%
(2) 300円	7	2.9%
(3) 500円	19	7.8%
(4) 1千円	57	23.3%
(5) 3千円	32	13.1%
(6) 5千円	31	12.7%
(7) 8千円	0	0.0%
(8) 1万円	22	9.0%
(9) 2万円	3	1.2%
(10) 3万円以上	1	0.4%
(11) 支払いたくない	48	19.6%
無回答	17	6.9%
計	245	100.0%

問⑭で「11, 支払いたくない」とご回答された方におたずねします。その理由をお聞きします。あてはまるものをいくつでもお選びください。

	回答数	構成比
(1) 農業水利施設には興味や関心がないから	6	2.4%
(2) 農業水利施設が持っている「さまざまな役割」が失われても差し支えないから	0	0.0%
(3) 農家や農業関係者が維持していくべきだと思うから	17	6.9%
(4) 明確な理由はないが、なんとなく	9	3.7%
(5) その他 ()	21	8.6%
無回答	192	78.4%
計	245	100.0%

農業水利施設が持つ「さまざまな役割」を継続させるためには、清掃などの維持管理が不可欠です。現在は農家と「水土里ネット(土地改良区)」で主に管理していますが、農業者の減少や高齢化などにより「さまざまな役割」を継続させることが困難になる恐れがあります。あなたは、今後どのようにすれば良いと思いますか？一つお選びください。

	回答数	構成比
(1) 従来どおり農家と「水土里ネット(土地改良区)」が管理する	27	11.0%
(2) 公的機関(国、県、市町村)の支援を受けて農家と「水土里ネット(土地改良区)」が管理する	104	42.4%
(3) 地域住民(ボランティア)の支援を受けて農家と「水土里ネット(土地改良区)」が管理する	13	5.3%
(4) 公的機関と地域住民の支援を受けて農家と「水土里ネット(土地改良区)」が管理する	59	24.1%
(5) 公的機関がかんりする	24	9.8%
(6) その他 ()	5	2.0%
無回答	13	5.3%
計	245	100.0%

記述回答データ一覧表

質問項目	「水土里ネット(土地改良区)」や農業水利施設が持つ「さまざまな役割」に関して、どのようなことでもよろしいですので以下の欄にご自由にお書きください。
回答者番号	記述内容
2	認識不足ですが、維持管理は農家と土地改良区で行ってる事は良くわかりました。費用がどのようになっているのかわからない。
6	改良区運営に協力をするので、これからもよろしくお願い致します。
9	今回のこのアンケートは、総合的に須川パイロット全域に関する水土里ネットを基準にした意向調査のように受けましたが、この区域内の中で山田耕地の畑を有しております時に、ご存知のように果樹はかろうじて、その他野菜類、トラクターでの耕耘は機械を傷める事大であり、全く畑としての機能に至っておらない現況で、周囲が荒れ放題になっております。水田農業米作がパッとしない現況下では、農家所得を得る為には畑作の役割が重要であり、本来の水土里ネットに結びつかざるべきものが役立っておりませんが、それが悩みの種でもあり、公金も自然に渋くならざるを得ないと考えております。荒れ放題にしても誰の為でもないと思ひ僅かながらも畑に生かしたいと思つて掘っては石を拾い掘っては石を拾いの繰り返しで(約25a程)更に進入路に、ひば伐倒木が片付けられておらず困っております。
14	農業不振高齢化により様々な役割が継続困難になる中で、国・県・市町村の支援を受けながら農家と土地改良区が管理する。
18	農業水利施設が老朽化して更新しなければ水が出ないと言う事になってきて、米作りは大変だと思います。米は安くなり費用は高くなり、若い人達は農業を嫌がっています。今農業をやっている人は高齢で働けないし、今でさえ費用の滞納が多いのに今後益々増えてきて、水利施設の維持管理がひどくなると思います。
26	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域直接支払い制度の継続により、やっとなすばらしい景観、改良区農業施設、地域の共同作業等を長く守り育てていくことを願います。 ・改良区賦課金、工事負担金等、滞納整理対策を実施し未収金を解消し健全な改良区運営を進められたい。
29	一般の方にも広く利用してもらつて様な、様々なイベントを考え、地域の方と一体となつて守り継続していくことが大事だと思います。
32	農業をやっていないので実感がありませんので、回答できません。
37	中山間地直接支払制度の活用によって、地域環境の美化が図られたことを思うと、一人一人の力より多くの人々の力を結集することの大切さを痛感しました。今年限りで制度が無くなつてしまうと、また以前の様な荒れ果てた田・畑になってしまうのではないかと心配です。農家経済の先行きを思うと、この制度の存続を切に願うばかりです。
42	水路やため池等が荒れ放題になっている所等が多く見られる。整備していればもう少し景観や水不足の時等解消されるのでは? 地域全体で取り組む必要が出来れば? 公的機関と水土里ネットが中心になつて事業の取り組みを望む。
50	漏水について知つてる範囲連絡してありますが、受益者に対してもう一度給水管等のチェック(シーズン中)を進めてほしいと思います。

回答者番号	記述内容
51	現在、及び将来の土地改良区の大きな問題として区員の減少、負担金の不払い等が大きな課題と思うので、経費の節減が大事であると思う。農業（農家）が立ち行かない以上、水利施設の維持、環境の保全も余り意味がない。国民全体が理解し、負担してもらえる様、PR活動が必要と思う。
53	米賃の低下、高齢者の労働の厳しい昨今、どうして維持していけるのかと案じられます。それに、何かと負担が重なると一層困難をもたらす事と思われまますので、公的機関の支援をお願いしたいと望みます。
55	組合員に対して須川土地改良区では、施設等の見学やそれらの持っている機能、役割等を教える場を設定するのも一つの仕事（義務）だと思います。それにより、施設を維持していくのに必要なこと（金銭、労力）がいくらかでも伝わると思います。企画してみたいはかがなものでしょうか？
57	土地改良事業は難関を乗り越えて地についた活動になりつつありますが、後継者不足が一番の心配です。農作物の価格の変動があり、安定しないので農業の魅力がない事です。「働けど働けどわが暮らし楽にならざりき」…… ※中山間事業の継続を切に望みます。
60	排水のヒューム管が小さいので大きいのにしてほしい。
64	農業という職業は全然知りません。
65	自然環境の維持増進をするためにも、農業用水路の果たす役割が非常に重要ですが、我々が空気（酸素）と同じでその重要さがともすれば忘れられている現状です。広く運動すべきでしょう。
66	① 農家が豊かな生活出来るように、又、安心して米が食べられるような米作りをしていただきたい。 ② 環境整備も16年度で終了となるそうですが、引き続き継続していただきたい。
70	近くにH大養豚場があり、そこから排水される糞尿水によるハエの大量発生、広範囲にわたる大悪臭は地域の自然を破壊しています。改良区は住み良い農村、自然豊かな農村づくりに、この面での改善に努めてほしい。
75	水路や法面などが壊れているところが随分見受けられますが、改良区で補助金をいくらでも出してもらえようをお願いしたい。金がなくて直したくても直せない現状です。
78	<ul style="list-style-type: none"> ・食料は自給自足という観点から出来るだけ農業を続けていきたい。 ・そのための農地の維持管理には、その役割を果たす考えでいる。 ・食の安全も考え、一部無農薬栽培試験を続けてきている。全面積無農薬栽培にするのが願である現在は、いもち病予防による減農薬栽培の段階である。
80	土地改良区からの情報が伝わってこない。
82	課題は沢山あると思いますが、運営については出来るだけ透明化に努めてほしいです。作物を作ることは、「人間本来の作業」と考えます。公的機関の支援は必要であります。又、地域の人達とも一緒に取組むなどを進めることは、今後特に必要になってくると思います。その時は私も参加してみたいです。

回答者番号	記述内容
85	地域の土地改良区の益々の発展を祈ってます。金沢の町200世帯に住むものです。防火用水に年中利用しています。
96	用排水路は多目的役割を持っているものもあるから、公的機関で管理すべきであると思考する。
98	年に2回の農水利用の堰払いに出かけますが40代、50代の頃は何ともなかったのに近年は大分大変を感じるようになりました。皆と同じように作業できないので、2~3日前に自分の分だけと少しずつ汚泥をあげるようにしています。ここ4~5年集落排水のおかげで汚泥の量も減り、異臭も大分感じられなくなりつつあるようです。
99	パイロットでの送水期間に関して、水田と畑での使用期間が異なるが、出来れば冬期間以外であれば延長を検討してほしい。(畑・果樹・ハウス使用)
102	息子が農業者で組合員ですが、実際は会社員で農業の方は70歳過ぎても働いています。働けるうちは今後もやろうと思っていますので、宜しくお願いします。
105	農業者、非農業者に関係無くもう少し自然に対して、優しく接してやる必要が感ぜられます。まず空き缶、空き瓶の投げ捨て、ビニール袋の投げ捨てをやめてもらわないと！まず、この心が一番必要です。
106	畑のほうは、出来れば9月下旬まで水がほしいです。
107	改良区内の空き地(荒地)に蕎麦等を大量に蒔いて収穫し、蕎麦粉を販売したらどうか？ひまわりを蒔いて油等を取って油を売る？大豆等も良いと思う。
119	農業用水路に食堂や家庭雑排水により、水稻栽培に支障があったり、悪臭による生活環境が悪化している。下水道の完成が待たれます。
122	将来の人間生活上問題が起こることの無い環境を整える事は、水土里ネットの使命課題である。これ迄以上の中山間直接支払制度の拡充を望む。
124	私の付近の方々は、私同様このことについて知らない方が沢山いるように思います。皆さんにわかって頂く方法を考えて下さい。勉強不足な私ですが、少しわかりました。ご苦労様です。
133	農業水利施設の維持費を改良区の組合利用者の賦課金だけに負担を求めているが、農地集積が進めば進むほど負担が大きくなり、現在も水稻経費の14%に当り、肥料・農薬等の資材費を上回っていることをご存知でしょうか？ 近い将来、水稻の作付け農業者は激減することになるわけですが、一般市民は多面的機能等と言っても理解されていない。須川改良区が行っているようなイベントを、照井や他の改良区と合同で市民にアピール出来るような行事にすべきです。 経営面だけの合併は失敗しますよ。 20%を超えたなら、井戸等へ投資したほうが安いのです。
162	農業を取巻く情勢が大変厳しいので、ネットの方々のご苦労も又察するに余りありません。 猫の目のように変わる農業政策、こんな事でよろしいのでしょうか。穀物自給率も非常に低いと聞いています。昨年のような凶作が続いたとしたら、日本国民どうなるのでしょうか。 農は国の本と云われます。恵まれない立場にある農業者の皆さんのご検討を心から祈念いたしたいと思います。
170	雨が降ると水が道路を流れ、下の方が溝を掘っていく。道路に碎石を敷く時、道一面にはいらぬ。車輪の所だけで良い。
175	土地改良区は経費がかかりすぎて、組合員負担が金額、労力的に多すぎる。公的な効果が多くなるので、行政が主体でやるべき。

回答者番号	記述内容
176	水土里ネットの訳、この文書にてわかりました。
184	須川土地改良区については理解していましたが、水土里ネットのマークについては、あまり馴染みがありませんでした。いつ出来たのでしょうか。何かの機会に説明ください。又、昨年度あたりから収穫祭を行っていますよね。良い事だと思います。トップがかわったのでしょうか。身近に思えるようになりました。
186	主人はおむつの生活で入退院の繰り返し、後を継いでくれる人の面倒を見てくれる子供がいないし、私も障害を持って自由に動けない体です。
195	東北電力と話し合いをして、風力発電事業を進めてください。又、休地を利活用する事業者を振興局と話して探してください。
201	従来通り土地を持つ者、あるいは耕作する者の義務と責任により行う事が当然だと思う。
202	今後のメダカや蛍などが生息する自然環境にも配慮して、安全な農産物を生産できる地域になるように努力すべきと思う。
203	ため池農業水利施設は、水田の送水、目的以外に火災時にも使用する施設ですので公的機関、地域住民の協力を受けて土地改良区で管理する、良いと思います。
206	水の使用について、節約の方法を考えてみませんか？ 自分の水田は勿論ですが、他人の水田も見回りをして無駄に流している水田が見受けられる場合は蛇口を締めて歩きますが、余りいい気分ではありません。そこで、水の節約、無駄な流し方に充分に考えて使用するよう、改良区より出る文書（賦課金通知書）全てに入れていただければと思います。何回か入ってきましたが、必ず入れてくださるようお願いしたいと思います。
211	須川パイロットの事は知っていましたが、恩恵を受けているのは（問9(1)～(6)の事です）周辺の方々だけだと思っていました。もっとPRすべきと思います。家庭雑排水等も受け入れているのであれば、ある程度の負担をしてでも施設を維持管理していく必要があると私は考えます。
224	農業に限らず全ての産業は人類生存のために行われるものであり、そのために公的機関を中心とした取り組みが必要だと思います。改良区内にとどまるのではなく、行政の中に（例えば水道課、下水道課のように）一分野を設けてやる必要があります。
230	パイロットの田は一反歩きりですが、米作りもやめます。水利費も払えなくなります。止めてくださって結構です。水路も土手も壊れるかもしれませんが、私達は若い人達と生活が別でますます厳しくなります。改良区と縁を切りたいです。金を出せという通知はよこさないでください。奉仕作業にも参加できません。若い時から開拓者として無理して頑張って働いた体です。死に際位少しは楽したいと主人が言います。今年とった米あるうち食べたらずヨナラです。お世話になりました。
232	がんばれ。
236	問13で協力したくないに○を付けましたが、確かに皆で協力し合ってやれば理想ですけども、それも色々大変なので、色々な作業は業者に委託するという形を望みます。
239	耕作されない田畑が増加していることは非常に残念であり、やむを得ない耕作環境でもあると思いますが、この事が自然環境、生活環境の破壊につながってゆくと感じます。この中で農業水利施設が果たす役割はますます重要になると感じます。この役割を維持することは農業者だけでなく、当然に行政、地域住民も一定の役割、責任を果たすべきであると感じます。